

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくまし生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



細野中だより

第32号 H27 3.26
 発行者 甲斐昭児
 ☎ 23-3611

◆ 第68回卒業式 (3/16) ◆



祝卒業 飛翔大なる未来へ



入場



記念品授与



記念品贈呈



卒業式の歌



送辞



答辞

最高の卒業式でした。立ち振舞い、返事、歌声に一人ひとりの3年間の想いが凝縮されており、私はこみ上げてくる涙を何度もこらえていました。

1、2年生も準備や後片付けに一生懸命取り組んでくれ、式に臨む態度も整然としていました。

行事を通して、人はルールやマナーを身につけ、段取りを覚え、技術を磨き、協力することを学びます。これらを次に生かせるのは入学式ですね。



受付

お知らせ

□ 県立高校の発表が19日にあり、受検した25人全員が合格しました。おめでとう！

- (3/20) 用務員の山本さんが育てたサイネリアを、生徒会役員が地域の施設(神の郷温泉、ごぞんさん家、まきばの園)に届け、大変喜ばれました。駐在所や郵便局にも届けています。
- (3/21) 地域の皆さんが、桜祭りに備えて桜並木の一斉清掃を行い、本校も部活動生を中心に参加しました。刈った草を集めたり側溝や水路の掃除をしたり、子どもたちはよく働いてくれました。その後は地域の防災訓練があり、煙体験や放水体験に女子バレー部が参加しました。地域の一員として、学校ができることがまだまだありそうです。
- (3/25) 毎週水曜日、昼食時の「校長先生のお話コーナー」は最終回。今年度も31回、話をさせてもらいました。その中の一つでも覚えていてくれると嬉しいです。
- (3/25) 細野小学校の卒業式が行われました。来年度は44名が本校に入学します。中学校での活躍に期待しています。
- 春休みの課題が各教科から出されています。いつまでに何をしなければならないのか、ご家庭でもご確認ください。

【主な行事】(4/7)始業の日 (8)入学式 (12)参観日・PTA総会 (15)県数テ (16)県英テ (20)家庭訪問開始・体育大会結団式

🍀 平成26年度を終えるに当たって 🍀
 いくつかのキーワードで平成26年度を振り返ると…

- ◇ 「落ちつき」…大きな問題行動もなく、落ちついた雰囲気の中で教育活動を進めることができました。生徒会のスローガン「もう一度来たいと思う細野中」に近づきつつあります。
- ◇ 「現状維持はマイナス」…体育大会が初の5月実施。準備には戸惑いもありましたが、気候は良好、大会も大成功でした。他にも、新しい企画を考えたり内容の見直しをしました。
- ◇ 「コミュニティ・スクール」…昨年度を上回る数の指導者を外部から呼びました。講演や講習、実技指導などが主ですが、授業での活用をもっと増やせたらと考えています。
- ◇ 「紹介」…生徒作文や本校に関する記事の新聞掲載が大幅に増えました。ホームページも平成24年後期のリニューアル以来、来場者が5万人を超え、日々増えています。
 今の学校の様子を保護者やOB、地域の皆様にも見てほしいと思い、学校便りやホームページで紹介してきました。
- ◇ 「生徒会」…生徒総会でいじめ追放を宣言、個人の宣言も掲示するなど、全国の活動と連携して取り組んでいます。あいさつ運動、各種募金活動、ペットボトルキャップや書き損じはがきを届ける運動、服のチカラプロジェクトなど、ボランティア活動にも積極的に参加し、成果を上げています。
- ◇ 「挑戦」…職員全員が市の教育論文に応募しました。5人が受賞し学校賞もいただきました。教師が挑戦する姿は、子どもたちにも大きな影響を与えることでしょう。
- ◇ 「環境」…子どもたちの成長に不可欠なのが学習環境の整備です。たくさんの花に加え、観葉植物や掲示物の工夫、清掃の徹底など、生徒の心に響く取組を続けています。
- ◇ 「少子化」…生徒数が一番多かったのは昭和37年(1962年)の476人。今年度は127名。来年度は128名の予定です。それ以降は増減を繰り返しながら、徐々に減っていきます。
 影響を受けるのが部活動。保護者や地域の皆さんの部活動への関心が高く、たくさん支援をいただいています。また、学校活性化への影響も大きいと考えていますが、新入生の状況によってはチームが組めない部活がでてきます。
- ◇ 「凡事徹底」…学校評価(自己評価と保護者による評価)によると、ほとんどの項目で肯定的な数値が向上していました。あいさつや整理整頓、提出物など、当たり前のことがきちんとできると他のことまで良くなるようです。

保護者、地域の皆様へ

～お世話になりました～

定年により、3月31日をもって退職いたします。小林中を皮切りに34年間、北浦町、門川町、日向市、西都市、都城市、高原町、えびの市、小林市の10校に勤務させていただきました。



2年間という短い期間でしたが、細野中は「明日も来たいと思う」学校でした。素直で体を動かすことが好きな子どもたち、協力的で行動力あふれる保護者や地域の方々、同じ目標に向かって熱心に取り組んだ先生方…。皆さんの協力を得て、新しいことにも数多く挑戦することができました。

いくつかの課題は抱えつつも、今、本校は確実に前進しています。来年度以降、新しいメンバーによる細野中のさらなる発展をお祈りいたします。

私も「一生青春」の気持ちで新しい生活に臨みます。小林市内に住んでいますので、どこかでお会いすることもあるでしょう。その時は気軽に声をかけてください。

2年間、ありがとうございました。(甲斐 昭児)